



延喜式内名神大社

生島足島神社便り

第 55 号



ごあいさつ／氏子総代・役員	2
ごあいさつ／氏子定期総会／氏子総代・役員／新任総代	3
令和3年度事業計画	4
年間行事予定	5
生島足島神社の神々	6
初詣／夏至・冬至／卜事／お知らせ	8



QR コード

携帯電話、スマホにて簡単に
ホームページにアクセスできます。

QR コード

「参拝の作法と参拝順序」
まいふれ上田・東御にアクセスできます。

ごあいさつ



宮司代務者

池内 宣裕

令和三年辛丑の歳が開け、此春の時季、三月二日を以て当神社は新年度を迎えました。

本年は皇紀で謂えば二千六百八十一年。謹んで聖寿の万歳と皇室の弥栄を言祝ぎ※1、日本国・地域の隆昌と国民・氏子崇敬者の方々の平安をお祈り申し上げます。

昨年十一月八日の「立皇嗣の礼」※2をもち、上皇陛下から天皇陛下への皇位継承に伴う「譲位礼正殿の儀」から始まった二連の国の儀式がすべて終了いたしました。万世系の伝統に立脚し、皇位の長久が揺るぎないものとなることを切に願うばかりです。

氏子崇敬者の方々におかれては、御健勝にてお忙しい日々をお過ごしのことと存じます。平素は、神社の神徳宣揚に格別な御理解のもと種々御協力を戴いておりますことに厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は大陸武漢発生の新型コロナウイルス感染症の流行により世界中で混迷の年となり、感染拡大が第二波、第三波と続き、新しく変異ウイルスなどという変異株が拡がっており、未だ終息の気配が見えません。ウイルスによりさまざまな被害を受けられた方に心からお見舞いを申し上げますとともに医療従事者又昼夜終息対策等に尽力されている全ての関係方々に敬意を表す次第です。

一日でも速く元の穏やかな日々に戻る事が出来るよう私共神職も疫病退散を願う毎朝「祈願祭」を執り行なっております。神社といたしましても、御参拝の方々が少しでも安全安心にお参り頂けるよう対策を講じております。御不便を掛けるような場面もあろうかとは存じますが御理解御協力の程宜しくお願い申し上げます。

前号で御紹介しました「日本遺産認定 太陽と大地の聖地」龍と生きるまち信州上田・塩田平」、「上田電鉄別所線千曲川橋梁復旧に伴う全線開通」と明るいニュースもある中、当塩田平地域が改めて脚光を浴び、関心を集めていることから参拝者前年比増が期待されております。また新年度に向けて総代改選期となり、神社総代九名（他三名が再任）が神社の発展に寄与され多大なる功績を残され御退任になられました。多年の御奉仕に対し厚く御礼申

し上げ、心から感謝申し上げます。どうか健康に御留意され、これからも神社の為に、御指導御鞭撻を戴きますようお願い申し上げます。

去る三月七日、役員選挙が行われ、氏子総代長松澤繁樹殿の再選をはじめ新役員が選任されました。本年は「辛丑」。植物の芽が種の中で眠っている状態から新しくなろうとしている状態。子年に蒔いた種が成長していく一年であるといわれています。丑は忍耐強く誠実な動物とされています。役員・総代・職員共に一致協力し、一歩一歩地道に歩みを進め、御神恩と先人達の御遺徳に感謝をいたし、神徳宣揚に努めていく所存でございます。

氏子崇敬者の方々には、大神様御祭神の御加護を賜り、本年が幸多き佳き年でありますよう心よりお祈り申し上げます。新年度始めの御挨拶といたします。

※1「賀表奉呈」永年に亘り皇室と深い御由緒をもつ旧官國幣社が、新年にあたり皇室の弥栄を祈念いたし、賀表を奉呈する習わし。

長野県内は次の五社が元旦、宮内庁へ御奉送申し上げます。

諏訪大社（官幣大社）、生島足島神社（國幣中社）、戸隠神社（國幣小社）、穂高神社（國幣小社）、長野縣護國神社（内務大臣指定社）

生島足島神社は、御祭神 生島大神 足島大神が宮中三殿（賢所・皇靈殿・神殿）の老殿神殿内にお祀りされています。

※2 秋篠宮文仁親王殿下が正式な皇位継承者皇嗣になられました。

令和三年度
氏子総代・役員

令和三年三月七日御本殿に於いて、池内宣裕宮司代務者より継続された総代三名と新総代九名に「新任総代委嘱書」が交付されました。

引き続き、令和三年度「第二回氏子総代会」が開催され、任期満了に伴う責任役員3名の選出選挙が厳正に行われ、氏子総代長に松澤繁樹氏（六班）、総務部長に永井憲幸氏（四班）、経理部長に児玉晋氏（九班）が満場一致で選出されました。神社・氏子の皆様のご指導の下、円滑に業務が遂行できますよう、新任総代共々ご指導・ご鞭撻よろしくお願ひ申し上げます。

なお、令和三年は左記の通り担当し、生島足島神社運営に尽力いたしますので氏子の皆さんの温かいご支援とご協力お願い申し上げます。



新年度 ごあいさつ



氏子総代長
松澤繁樹

早春の頃、氏子崇敬者の方々におかれましては益々ご清栄の事とお喜び申し上げます。

日頃より深いご理解と多大なるご協力を戴きます事に厚く御礼申し上げます。

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響より、祭典を始めとする神社の諸活動に大変大きな影響を与えました。感染予防対策としまして三密の回避・マスクの着用・消毒と消毒液・ビニールカーテン・アクリル板の設置・こまめな換気・手水の柄杓を撤去など実施、年始の参拝者の混雑を避け密にならない対策として御神橋を十七日まで通行可能とし一方通行にしました。福だるま・御守等の頒布場所の変更、県宝歌舞伎舞



台前でのお焚き上げは行なわないなど総代・職員が智慧を出し合い、出来る限りのコロナウイルス対策を行ないました。途惑う参拝者の方もいらつしやいました。が、国難とも言ふべき厳しい状況の中で何かを求めて来て頂く方々に安心して心安らかに参拝して頂ける神社にしておく所存です。まだまだコロナウイルス感染症の終息が見えない状況ですが、なお一層のご理解・ご支援をお願い申し上げます。

結びにコロナウイルス感染症の1日も早い終息を願うと共に、氏子崇敬者のご健康、ご多幸を心よりご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

氏子定期総会

三月二十日(土)、斎館大会議室において午後四時より多くの方々が出席される中、「氏子定期総会」が厳粛に開催されました。池内宣裕宮司代務のあいさつに続き、松澤繁樹氏子総代長より「新型コロナウイルス感染症予防対策下での神社内環境整備や参拝状況について」また「来年は御柱の年、多くの方々のご協力を願いたい」と述べられました。続いて、来賓の小林隆利、渡辺正博両市議会議員より祝辞をいただきました。その後、大森義文自治会長を議長に

選出し、左記の議事について審議されました。

- 一、令和二年度収支決算について
- 二、令和三年度事業計画について
- 三、令和三年度収支予算について
- 四、境内清掃出役について

十二月二十八日(日) 午前六時半と決議されました。

質疑応答の後、本年度責任役員が紹介され閉会となりました。



新任総代



7班 宮原 栄一郎
経理部



3班 永井 昌宏
経理部



9班 児玉 晋
経理部長



8班 花本 忍
総務部



5班 南波 幸信
広報部



10班 小宮山 幸男
管理部



9班 村山 辰夫
管理部



6班 白砂 一彦
祭典部



2班 市川 清志
祭典部

氏子総代長 松澤 繁樹(六班)(再任)

総務部長 永井 憲幸(四班)(再任)

経理部長 児玉 晋(九班)(新任)

祭典部長 横山 正直(十班)

管理部長 木本 昭征(二班)

広報部長 高梨 勝緒(十班)

総務部 村山 生夫(二班)

〃 花本 忍(八班)(新任)

経理部 永井 昌宏(三班)(新任)

〃 宮原 栄一郎(七班)(新任)

祭典部 市川 清志(二班)(新任)

〃 斎藤 正彦(四班)

〃 白砂 一彦(六班)(新任)

管理部 田村 民生(八班)

〃 横関 正幸(九班)

〃 村山 辰夫(九班)(新任)

〃 島田 信夫(十班)(再任)

〃 小宮山 幸男(十班)(新任)

広報部 南波 幸信(五班)(新任)

〃 依田 一幸(五班)

令和三年度 事業計画

総務部

総務部長
永井 憲幸
(四班)

一、神社公園の清掃・整備等を実施して、公園らしい景観にする。

二、参拝者には、総代全員が敬意とおもてなしの心を持って接し笑顔で挨拶するようにする。

三、総代・職員相互の親睦が図られるように立案する。

四、神社建造物の保守、改築(歌舞伎舞台、社務所と斎館の連絡通路・神池の浄化、透明性を高めるための工法を研究し推進・洪水吐け施設)がスムーズに進む様に関係各部署と連絡を密にし、計画する。

経理部

経理部長
児玉 晋
(九班)

一、会計業務

- ・収支は毎月役員会にて監査を受ける。
- ・関係書類を準備し、年二回の会計監査を受ける。
- ・一般会計収支決算書、予算書を作成し定期総会にて提案する。

二、備品(飲食物を含む)の手配

- ・祭典及び会合後に直会の有る場合は、飲物・皿盛り等の手配を行う。

- ・総代出役などの際は、飲物・弁当の手配を行う。
- ・事務備品、作業備品の手配を行う。

三、長野県神社庁、新庁舎氏子会館建設負担金について
・新庁舎設立負担金に備える。

祭典部

祭典部長
横山 正直
(十班)

一、祭典参進前の手水の儀、警護、扉・柵・注連縄の開閉他、準備、片付けの手伝い。

二、結婚式の準備、片付け、浦安の舞の練習時のサポート。

三、年末年始の準備、注連縄作り等の作業を行う。

四、名入れだるま、福だるまの目入れ、福升の焼印押し等、事前準備。

五、山柵(そよご)、空木(ウツギ)、ヨシ等の採取、また採取場所の環境が変化しているの対策を検討する。

六、結果作り用の青竹取り、地主・持ち主に事前にお願ひする。

七、年二・三回、注連縄、紙垂を

取り替える。

八、御歳代田作り、種蒔、植苗、稲刈等各神事奉仕

管理部

管理部長
木本 昭征
(一班)

一、境内清掃

・宮池、水口、配水溝の管理清掃定期に行う。

・第二駐車場清掃

・境内の枯れ木、支障木の除去作業(部外注あり)

・草刈業務(境内・参道・御旅所・山宮の各所年二回・三回)

・下之郷双葉会の清掃業務有り。境内建造物、屋根の落ち葉等の除去作業。

二、境内整備

・池西側フェンス通りに花壇を整備し、牡丹を補植し美化する。

・子安社回りに、草花を移植し環境整備する。

・生島公園の管理、柵、八重桜の木枝、垂れ柳、その他の手入れを行う。

・山宮、植林地の手入れ、須川、社有地を手入れする。

・宮池の水質浄化に伴う水利管理、地区水利委員との打合せを行う。

三、各部との連携業務

・祭典部 各祭事の準備・要請有り次第対応する。

・広報部 各業務の準備・各部イベント準備等

・総務・経理 祭典時の会場準備等

四、年末年始の準備

・薪作りを春に準備する。山宮、東山より調達する。

・ストーブ、灯油の準備、照明設備、駐車場(部外注)

・各駐車場の白線引き、雪つき用具準備・本殿周りの参拝者の対応の準備等

・道路標識の準備点検設置等

五、資源物の管理

・資源物管理は管理部で毎月第三金曜日に当番表により行う。

六、車両の管理

・車検、点検、(指定販売店)

・タイヤ交換 夏、冬タイヤ交換を行う

七、倉庫、西ハウス管理

・各道具、工具、御柱の道具、神輿、整備・点検

・整理整頓、各種、燃料、点検

広報部

広報部長
高梨 勝緒
(十班)

一、神社境内における作業

・神社大型看板の差替

二、神社内での記録写真の撮影

と編集保存整理

・神社の祭典・行事、及び境内の整備などを記録写真として保管する。

三、神社便りの発行

・当神社の祭典や行事のみでなく、情報の範囲を広げて広報誌の発行とホームページに掲載する。

四、神社祭事・イベント・許可書の手配

・祭典時各種使用許可申請手続きを行う。

・祭典時の煙火打ち上げ許可等の申請手続きを行う。

五、福だるま頒布

・福だるま・招き猫の頒布二月一日から十五日まで開催(二月十六日以降は授与所で頒布)

六、カレンダー・ポスター作成

・テーマを決めて写真データを蓄積し、カレンダーやポスターを作成する。

七、広報活動

・リニューアルしたホームページ(H.P.)の写真更改、神社情報発信等充実を図る。

神社年間行事予定

(令和三年)

月次祭 つきなみさい

(毎月朔日 午前九時) 一月は齋行しない

一月

歳旦祭 さいたんさい

(二月一日 午前九時) 正月元旦

御門祭 みかどまつり

(二月八日 午前八時)

荒魂社例祭 あらみたましやれいさい

(二月八日 午前九時)

御筒粥卜(占) 神事 おつつがゆう

らないしんじ

(二月十四日 夜 御籠祭後引き続き)

御筒粥卜(占) 奉告祭及蠶目鳴弦並

蛙狩神事 おつつがゆうらないほうこ

くさいおよびひきめいげんならび

にかわがりしんじ

(二月十五日 午後一時) 旧成人の日

二月

節分追儺祭 せつぶんついなさい

(二月三日 午後二時)

会員年度表彰 (引き続き)

鬼やらい豆撒き (午後三時)

紀元(節)祭並神位祭併祈年祭

(せつ) さいならびにしんいさいあわ

せてきねんさい

(二月十一日 午前十時)

三月

神社総代就任奉告祭及委嘱書交付式

じんじやそうだいしゅうにんほうこ

くさいおよびいしよくしよこうふ

しき (午後二時)

秋葉社(講) 例祭 あきばしや(こう)

れいさい (三月二十六日 午後四時)

四月

御(遷)神事(諏訪様遷座祭)おうつり

しんじ (すわさまかんざさい)

(四月十八日 夕闇 午後五時)

摂社諏訪神社(下宮) 例祭 せつしや

すわじんじや(しものみや) れいさい

(四月十九日 午前十時)

春季祭(御本社上宮) しゅんきさい

(ごほんしやかみのみや)

(四月十九日 右例祭に引き続き)

昭和祭 しょうわさい

(四月二十九日 午前九時) 昭和の日

五月

山宮社例祭 やまみやしやれいさい

(五月十日 午前九時)

六月

御歳代田作り みとしろたづくり

(六月二十五日 午後四時)

御歳代種蒔神事並祇園天王降祭

みとしろたねまきしんじならびにぎ

おんてんのうおろしのみまつり

(六月三十日 午後五時)

六月の大祓式(夏越の祓) ろくが

つのおおはらえしき(なごしのはらえ)

(六月三十日 午後六時半)

七月

祇園祭 ぎおんさい(七月最終日曜日)

子供神輿・大人神輿・浦安の舞

下之郷三頭獅子舞奉納奉告祭しもの

ごうみかしらししまいほうのうほう

こくさい(七月最終日曜日午後二時)

獅子舞奉納

御歳代植苗祭(御田植神事)並祇園

祭みとしろしよくびようさい(おた

うえしんじ)ならびにぎおんさい

(翌日午後五時)

八月

九月

田面神事 たのもしんじ

(九月一日 午後五時)

八幡社例祭 はちまんしやれいさい

(九月十五日 午前十時)

例祭(秋季祭)(御本社上宮) れいさい

(しゅうきさい) (ごほんしやかみのみや)

(九月十九日 午前十時)

神賑祭(歌舞伎舞台) しんしんさい

(午後一時半)

十月

御歳代稲刈り(拔穂) みとしろいね

かり(ぬいぼ)

十一月

(十月中か十一月上旬 午後四時)

神(御)井神事 みいしんじ

(十一月一日 午後四時)

上神(御)井祭・下神(御)井祭

かみみいさい・しもみいさい

御(遷)神事(諏訪様遷座祭)おうつり

しんじ(すわさませんざさい)

(十一月三日 夕闇 午後五時)

御籠祭 おこもりさい

(十一月三日から四月まで 夕刻)

子安社例祭 こやすしやれいさい

(十一月四日 午前九時)

新穀感謝祭(新嘗祭) しんこくかん

しやさい(いにめさい)

(十一月二十三日 午前十時) 勤労感謝の日

十二月

十三社例祭 じゅうさんしやれいさい

(十二月二十五日 午前十時)

古神札(神符守札) 焼納式 こしん

さつ(しんぶしゆさつ) しょうのう

しき (十二月三十一日 午後三時)

十二月の大祓式(師走の祓) じゅ

うにがつのおおはらえしき(しわす

のはらえ)

越年除夜祭 えつねんじよやさい

(十二月三十一日 引き続き)

(十二月三十一日 引き続き)

生島足島神社の神々



権禰宜

友野直樹

生島足島神社には様々な神様がお祀りされています。

一、御本社（ごほんしゃ）

本社は、主祭神を祀るお社（おやしる）の事で橋を渡り、島の中にある一番大きな建物です。

御祭神

一、生島大神（いくしまのおおかみ）
二、足島大神（たるしまのおおかみ）

御神徳

生島足島神社の主祭神で、大地国土の御霊です。

生島大神は、多種多様な生命を島・大地に『生み出す』神様

御本社

足島大神は、生島様が生み

どこにどんな神様がお祀りされているのか、知りたいとご要望がありましたので紹介したいと思います。（○の番号は、由緒書に掲載されている境内案内図の番号です。今回掲載致しますので合わせてご覧ください。）

出した生命を島・大地の隅々に『満ち足らしめる』神様

即ち 生島神Ⅱ生成 足島神Ⅱ発展が御神徳になります。

農業関係者が五穀豊穡を祈るのはもちろんの事、商工業者が社運隆昌、商業繁栄を願うのはこの二神様の御神徳が全て万物に通じるからです。

近頃は交通安全はもちろんの事、合格祈願・子授、安産、初宮詣、子育て、七五三詣も増えています。また、戦国武将が崇敬したことから勝利必勝の御祈願を受ける方も遠方より来られます。

主な祭礼日 春季祭 四月十九日

例祭 九月十九日

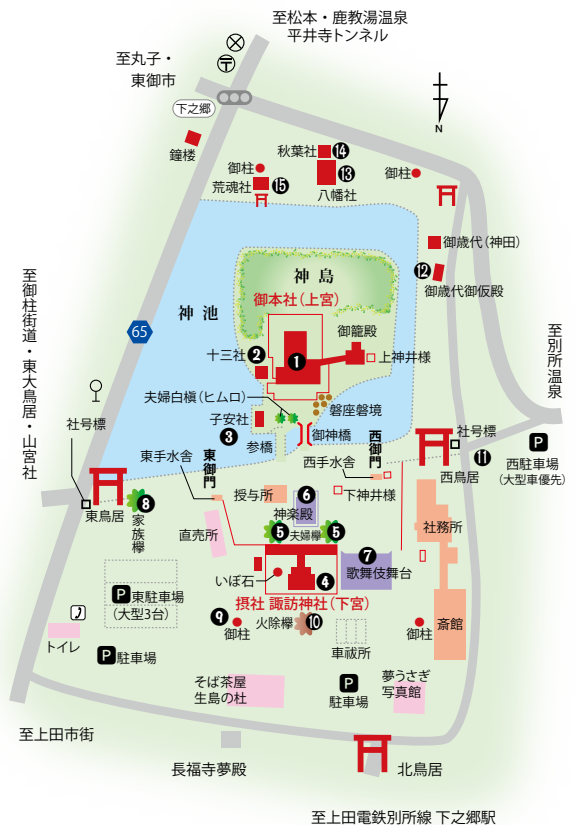
新嘗祭 十一月二十三日

祈年祭 二月十一日

※月次祭 毎月朔日

お祀りの日にはお参りしましょう。

お祭りがある日は神様とのご縁がある日です。参拝して神様の力をその身に受けましょう。
毎月朔日は、月次祭（つきなみさい）を行なっています。



十三社

月初めに一ヶ月の安全無事を祈る祭です。それに合わせて早朝より多くの方が神様とご縁を結び、その御神徳を得ようと参拝に見えられます。これをお朔日参り（おついたちまいり）といえます。是非皆様もお参りお越しください。

二、十三社（じゅうさんしゃ）

※末社（まつしゃ）

橋を渡り、島の中にあります。御本社左を進み奥にあります。

※末社とは、主祭神との関係はないが、特別重要な神様を祀るお社

御祭神

一、瀬織津媛神（せおりつひめのかみ）
川の早い流れに鎮まる女神



子安社

二、速開津姫神（はやあきつひめかみ）
大海の沢山ある潮目に鎮まる女神
三、伊吹戸主神（いぶきどぬしのかみ）
風が発生するとされる戸に鎮まる
神

四、速佐須良媛神（はやさすらひめのかみ）
罪穢をどこか遠くに持って
行ってくれる女神

※ この四神は大祓詞の中で罪穢れを
持ち去る神様として出てきます。

五、底筒男神（そこつつのおのかみ）
海底の神

六、中筒男神（なかつつのおのかみ）
海中の神

七、表筒男神（うわつつのおのかみ）
海面の神

※この三神は住吉大社の神様
古来住吉では遣隋使の航海の安全を

祈願しお祓
いを行って
いました。

八、神直日神
（かななお
びのかみ）
神様に

由来する
日本人と
して正し
い行いを
司る神

禍津日神

がもたらす禍（災厄）を直すため
に生まれた神

九、大直日神（おおなおびのかみ）
日本人として立派な正しい行いを
司る神

禍津日神がもたらす禍（災厄）を
直すために生まれた神

十、綿津見神（わたつみのかみ）海神

十一、八衢彦神（やちまたひこのかみ）
道 分岐点を守る男神。道祖神と
同一視する考えもある神

十二、八衢媛神（やちまたひめのかみ）
道 分岐点を守る女神。道祖神と
同一視する考えもある神

十三、泉津事解男神（よもつことさか
おのかみ）伊邪那岐命が黄泉国よ
り帰還の際に行った禊により誕生
した神 和歌山熊野の神の二柱

御神徳 祓いと清め
例祭日 十二月二十五日
神道にとって一番重要な事柄お祓い
お清めに関係する神様十三柱が祀られ
ています。

お祓いは、海と関係が深く塩でお祓い
お清めをするのも関係しています。殆
どの神様が伊弉諾尊、黄泉の国（あの
世）より帰還後、禊をした時に誕生し
た神様達です。

三、子安社（こやすしゃ）末社

橋を渡りすぐ左にあります。

御祭神

一、彦火瓊瓊杵尊（ひこひにぎぎのみ
こと）
天孫降臨 高天原より、天照大御神
の命を受け最初に大八洲（日本列島）
に降り立った神様

天照皇大御神ー正勝吾勝忍穗耳命ー
彦火瓊瓊杵尊ー初代神武天皇・・・
百二十六代今上陛下となります。

皇室のご先祖様となります。

二、木花開耶姫命（このはやくさくやひめ）
花の化身の女神
父は山の神 大山津見神（おおやまつ
みのかみ）

その美貌を見染められて彦火瓊瓊杵
尊の妻に二神の仲睦ましい御姿が後の
皇室の繁栄 日本国の発展につなが
る。富士山の頂上に祀られている神様
として有名

御神徳
子授 安産 子育 夫婦円満 子孫
繁栄 家内安全等のお力を授けらう
と、県内外から参拝者が絶えません。

例祭日 十一月四日

歴史

子安社は、江戸時代元禄十一（一六
九八）九月十九日に、「下之郷 横関二

郎兵衛兄弟が願主となり、郷中安全の
為生島足島神社境内に子安大明神を勧
請した」とされる比較的新しい神社で
す。

この横関さんは、塩田八十八ヶ所巡
り（お遍路さん）も勧請された方とし
ても有名です。下之郷が一札所の理由
です。子供が安らからに成長するよう
にと、社名が「子安社」となりました。
子供はいつの時代でも、どんな立派な
宝より有難い存在です。

子安石の頒布

赤ちゃんの健やかなる成長を祈り行
う『お食い初め』そのなかでも歯が丈
夫に育つように小石を口元へ運び食べ
させる真似をする『歯固めの儀』その
歯固め石を神様から授かりたいとの要
望が増えましたので、子安社にご用意
致しましたのでご利用ください。（雨
天時は授与所へ歯固めが終りましたら、
子安石はお子様のお護り石として、大
切にお持ち頂いても構いません。また、
返却奉納の場合は子安社横に奉納結
界が有りますのでそちらに納めてくだ
さい。

以上の文は、友野権禰宜個人の私見
も含めて述べていますので、すべて神
社の公式見解ということではありませ
ん。質問や意見等のある方は友野権禰
宜まで問い合わせ願います。

初詣

コロナウィルス感
染予防対策強化の中、
多くの方々が二年参
りから初詣の密を避
けての分散参拝にご
協力いただきました。
大変ありがとうございました。



元日のお守り頒布



総代と巫女による心を込めた目入れ



三年参りの分散参拝



ダルマ新頒布所



初詣の分散参拝

夏至は梅雨時の一瞬の
タイミングで朝陽が昇る▶



◀ 冬至は夕陽が沈むまでの一時を
楽しむカメラマン達

夏至・冬至

令和二年日本遺産に認定された
塩田平。古くから生島足島神社の
七不思議にも紹介されています「太
陽は、夏至に東鳥居の真ん中より
登り、冬至には西鳥居の真ん中に
沈み」ます。絶好の撮影スポットに
多くの方がおとづれます。

生島足島神社御筒粥ト事

早稲(わせ)	七分	馬鈴薯(ばいれいしょ)	七分
中稲(なかくて)	七分	果物(くだもの)	七分
晩稲(おくて)	七分	花卉(かき)	五分
夕顔(ゆうがお)	五分	蕎麦(そば)	八分
桑(くわ)	六分	大麦(おおむぎ)	八分
大豆(だいず)	七分	小麦(こむぎ)	九分
小豆(あずき)	六分	粟(あわ)	八分
春蚕(はるこ)	六分	黍(きび)	九分
夏蚕(なつこ)	六分	秋菜(あきな)	七分
秋蚕(あきこ)	六分	大根(だいこん)	七分

写真室からのお知らせ

写真室では結婚式に必要なすべてを取り揃えております。
お衣裳・美容着付け・撮影と神社内で
全てが行えますので、とてもスムーズ
にご用事が出来ます。
また、参列者の留
袖・モーニングな
どもございますの
で是非、ご利用く
ださいませ。



写真室

TEL 022-862-7533